

春の叙勲 輝く功績

春の受勲が4月29日付で発表されました。三重県内では63名が選ばれ、様々な分野での功績に、地道な取り組みが評価されての受勲です。誠におめでとうございます。

『瑞宝双光章』（公共的な業務に長く従事された）に、本協会前会長の嶋津宗晴氏が受勲されましたので、お慶び申し上げ披露させていただきます。

また、永年に渡り、本協会はもとより、多くのサッカー現場でのご活躍に改めて敬意を表するとともに、感謝申し上げます。



瑞宝双光章



教え子にJリーガーも

元県サッカー協会長

嶋津 宗晴さん(79)＝桑名市

県サッカー協会長を二〇一三―一六年に務めるなど長年にわたってサッカーの普及や発展に力を注いだ。地元の桑名市の小学校に通っていたころ、教諭に勤められたのがサッカーとの出会い。今のように校庭にゴールはなく、「好きな者同士でボールを蹴っていた」三重大卒業後に保健体育の教諭となるが、赴任した神戸高と四日市工業高はともにサッカー部がなく、自ら起す。四日市工業で

は全国大会に二度導いた。教え子には、一九九三年のJリーグ発足時から正GKとして名古屋グランパスを支えた伊藤裕二さん（四日市工業卒）がいる。「キーパーの指導がうまいんですよ」と笑う。

県内はJリーグで戦うチームのない「空白地帯」。桑名と鈴鹿両市の二チームが昇格を目指しており、「時間の問題でしょう」。

築いた礎の上で奮闘する後進を見守る。（諏訪慧）